

(※以下の情報は、米及びニュージーランドによるプレスリリースをもとに取りまとめたもの。)

■1. 会合及び交渉の全体像

—日程：9月6日-15日（於：リーズバーク（米国））

—交渉参加9カ国から交渉担当者が参加。

—次回交渉会合は、12月3日-12日にオークランド（ニュージーランド）で開催予定。

—9月9日に開催されたステークホルダー会合では、幅広い団体から250名以上のステークホルダー及び米議員事務所のスタッフが参加し、交渉参加9カ国の交渉担当者との話し合いや、TPPの関心項目についてのプレゼンテーションを行った。同日には、交渉参加9カ国の首席交渉官によるステークホルダーのためのブリーフが開催された。

—メキシコ及びカナダは、TPP交渉参加国が国内手続を終えた後、次回交渉会合から正式に交渉に参加する見込み。

■2. 今次交渉会合の成果

—今次会合で交渉は更に進展し、ロシア・ウラジオストクで表明されたTPP首脳声明による首脳からの指示に従い、交渉担当者は、可能な場合には残る問題を解決すること及び更なる作業が必要な事項に関する関係国間の差異を狭めることに集中した。

—協定の29の章の条文に合意するため、交渉参加9カ国の交渉担当者は取組を進めた。

—市場アクセス、税関、原産地規則、貿易の技術的障害、衛生植物検疫、越境サービス、電気通信サービス、政府調達等を含む幅広い分野で進展があった。

—鉱工業品、農業、繊維、サービスと投資、及び政府調達に関し、各国が作成している関税及び他の市場開放に関する特定の約束の策定も引き続き前進した。

—交渉参加9カ国は、知的財産、環境、労働等の重要な課題についても引き続き重点的に取り組んだ。